

スラリーの

1名分料金で
2人目無料

分散・調製技術と分散状態評価

- ◆日 時：2014年9月22日(月) 10:30~16:30
- ◆会 場：タイム24ビル 4F セミナールーム【東京・江東区】
- ◆受講料：1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-3599-5812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 法政大学 生命科学部 環境応用化学科 准教授 博士(工学) 森 隆昌 氏

【講座の趣旨】

液中での粒子分散を支配する要因を解説します。その後で、実際の測定例も交えながら液中の粒子分散・凝集状態をどう評価するか、その評価法を紹介いたします。

特に評価が難しい濃厚系(高粒子濃度)のスラリーや多成分系のスラリーについて、リチウムイオン電池正極材料スラリーを例に、粒子分散をいかに評価し、製品特性を予測・制御するかを解説します。

【習得できる知識】 液中での粒子分散の基礎、粒子分散状態の評価手法(従来法から最新技術まで)

【プログラム】

- 液中粒子の分散・凝集を支配する因子
 - DLVO理論
 - 非DLVO力
 - スラリー評価の必要性とその難しさ
- スラリーの流動性評価
 - 流動挙動の種類
 - 流動性評価法
 - 流動性評価の実例
- スラリー中の粒子集合状態評価技術
 - 重力沈降, 遠心沈降試験
 - 測定原理及び実験方法
 - 測定結果の実例

- 静水圧測定法
 - 測定原理及び実験方法
 - 測定結果の実例
- ナノ粒子の分散・凝集状態評価(浸透圧測定法)
 - 測定原理及び実験方法
 - 測定結果の実例
- 希薄系での直接観察
- スラリー評価の応用例(多成分系スラリーの評価結果)
リチウムイオン電池正極材料スラリーの評価
- まとめ

【質疑応答・名刺交換】

『スラリー』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的ににお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>